

## 題目：平均寿命の短い国シエラレオネ共和国

### 1. 研究目的

シエラレオネ共和国は西アフリカにある面積・人口共に北海道ほどの小国である。この国はWHO（世界保健機関）によると、平均寿命が34.0歳と世界で一番平均寿命が短い国となっている。日本の平均寿命が80歳を超えることと比べれば、その差は歴然である。世界各国の平均寿命は地域的にみると、アフリカが断トツで短い。それはアフリカにおける深刻な貧困問題がその大きな原因となっているであろう。しかし、その中でもシエラレオネはこれまでずっと平均寿命が短い。つまり、シエラレオネには他の国以上に平均寿命を短くしている深刻な問題が存在するのではないだろうか。本研究は、シエラレオネにおける平均寿命が短くなる原因を、アフリカの国々と比較しシエラレオネの特徴を見つけ出すことにより、考察することを目的としている。

### 2. 論文の構成と内容

#### 序論

研究目的

#### 第一章 平均寿命の短い国シエラレオネ共和国

シエラレオネの簡単な紹介と平均寿命の定義を行う。そして世界各国の平均寿命を世界地図に表しアフリカの平均寿命が短いことを示す。さらにアフリカにおける他の国の平均寿命と比べることにより、シエラレオネの平均寿命がこれまでずっと短いことを示す。

#### 第二章 平均寿命と新生児死亡率および死亡率の関わり

平均寿命が短くなることと、新生児死亡率および死亡率が高くなることとの関係を見ることで、平均寿命が短くなる前提を提示する。ここでは、死亡率の高さがその前提となることを示す。

### 第三章 シエラレオネ共和国における平均寿命が短い理由

第二章の前提を踏まえた上でシエラレオネにおける平均寿命が短い原因を考察する。紛争における死亡率の増加、エイズにおける死亡率の増加を仮説とし、検証する。さらに、かつてはシエラレオネと同じく平均寿命が短かった国の平均寿命が長くなっていることから、その国と比較することによりシエラレオネの特徴を考察する。

#### 結論

まとめ

#### 3. 研究の成果

- ・シエラレオネの平均寿命はこれまでずっと平均寿命が短い。
- ・シエラレオネの特徴は平均寿命がみじかいことと、もう一つ新生児死亡率が高いことが挙げられる。しかし、確かに新生児死亡率は世界で一番高いがこれは平均寿命と関係がない。
- ・紛争による死亡率の増加も、現在アフリカで深刻な問題となっているエイズによる死亡率の増加もシエラレオネにおいては他国より被害も少なく、平均寿命を短くしている原因とは言えない。

#### 4. 研究の反省と今後の課題

- ・平均寿命が長くなっている国と比較することで、シエラレオネの特徴を明らかにできると考えたが、比較する対象を細かく分けることができなかつたため、表面的な比較になってしまった。表面的な比較しか行えていないため、より一層なぜシエラレオネにおける平均寿命が短いのかわからなくなってしまった。さらにこの比較が行えれば平均寿命が短い理由が見つけられると思う。
- ・平均寿命の計算方法がとても難しいため、本研究から遠ざけてしまった。平均寿命を算出している団体により、値が違ってくことから、算出方法自体に何かからくりがあったかもしれない。算出方法から平均寿命が短くなる原因を探れたらより面白い考察ができたかもしれない。
- ・ぎりぎりまで本文を書いてしまったため、日本語チェックや構成の見直しができなかった。最低限のことができなかったことを反省する。